

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぼけっとさいたま浦和教室
公表日	令和6年 11月 20日
利用児童数	33家庭34名
回収数	32家庭

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32				・大部屋での活動もあり、確保されています	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1		1	・そう思います	・今は玄関のホワイトボードにその日出勤している職員を提示しているが、今後はさらに当日出勤している職員の人数など分かりやすくしていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1		1	・問題ないです	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32				・毎日掃除されているのを見かけています	・今後も整理整頓を心がけ、清潔に保ち心地よい環境を提供していく
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32				・すごく思います。素晴らしいです。	・ありがとうございます。今後もそれぞれの職員が専門性を発揮し支援してまいります
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31			1	・思います	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32				・すごく思います	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32				・すごく思います	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32				・思います	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1		1	・毎回工夫されていて感謝しています。 ・通ったばかりでまだ理解が追いついておりません	・フィードバックの際にはわかりやすくお伝えします
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	10	9	・必要性を感じていない ・そのような機会はまだない ・園に訪問に行っていたいています ・通ったばかりでまだ理解が追いついておりません	・必要とされていない保護者様、園には療育に通っている事を伝えていないご利用者様もいらっしゃるのでは難しさを感じております
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32				・ありました	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32				・されています	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1		5	・あります。助かってます ・まだ受けたことがありません	・ご希望があれば都度取り組んでいく
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32				・毎回聞いてくださっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	1			・して下さいます。本当に助かってます。	・今後もご相談いただける関係性を築いていきたい
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32				・そう思います	

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	7	5	8	・保護者会を又開いて欲しい(年長児) ・今後行われるのか？ ・兄弟向けのイベントに興味があります ・すごく助けて頂いています。素晴らしいです	・行っているが、そのクールのご利用者様が対象になつてしまう事が多い。皆様一度に行える場所もないため、今後も皆様にご参加いただけるよう様々な曜日、クールで行っていきたい。 また、昨年度の夏休みのように専門職員による講座も開いていく予定です
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1			・されています	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32				・していただいています	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	32				・していただいています	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32				・していただいています	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1		1	・都度、周知して下さっています	・今後も訓練実施後は玄関のホワイトボードやBLOGなどでお伝えしていく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32				・都度、周知して下さっています	・今後も訓練実施後は玄関のホワイトボードやBLOGなどでお伝えしていく
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	2			・都度、周知して下さっています	・今後も訓練実施後は玄関のホワイトボードやBLOGなどでお伝えしていく
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31			1	・されています ・事故を起こしたことが無いのでわからない	・ありがたいことに、今年度は事故の発生がまだ無いが、起きた場合に備え研修をしっかり行っていく
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32				・送迎の時間を含め、親子の貴重な時間となっています ・花丸!! ・まだ通い始めたばかりですがはじめは泣いていても帰りはニコニコです ・通う事をとても楽しみにしています	・嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も皆様のご期待にご信頼に添えるよう、職員一同、頑張ってまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32				・送迎の時間を含め、親子の貴重な時間となっています ・花丸!! ・二重丸!! ・いつも、教室のバックを持つと楽しみにしているようですすぐに行きたがりです ・通える回数が少ない週は「なんでいけないの？」と怒っていました ・楽しく通っています	・嬉しいお言葉ありがとうございます。楽しく通っていただいているとの事、私たちとてもうれい事です。今後もたくさんの笑顔が見られるようがんばります
	29	事業所の支援に満足していますか。	32				・とても温かく見守って支援していただいています ・二重丸!! ・花丸!! ・いつも丁寧な対応で安心してお任せしている。子どももいつも楽しそう ・言葉が増え、コミュニケーションがとりやすくなった ・毎週楽しみに通っています。今後ともよろしくお願いたします。 ・とてもよく見ていただき、親子ともども大変満足しております。いつもありがとうございます。 ・いつも相談に乗っていただきありがとうございます ・大満足です。頼りきってます	・嬉しいお言葉ありがとうございます。これからもいつでもお気軽にお声掛けください。今後とも楽しく通っていただき、一緒にお子さまの成長を喜び、感動しあっていただけますよう、職員一同気を引き締めて支援に取り組みでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

事業所における自己評価結果

公表		2024年11月20日				
事業所名		てらびあぼけっとさいたま浦和教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・ソーシャルセラピー(小集団活動)も取り入れ、様々な課題に対応できるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		トイレの補助便座など、複数種類購入しお子さまの使いやすいものを選んでる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			家具の陰や棚の下に汚れが残っていることがあるため気を付けたい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			時間が割けていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			管理者と個別面談が出来ている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		本部の監査を受けている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			※10月更新分より順次対応
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		プログラムの立案、再検討をしている	チームで時間を作ることが難しい場合は担当者2~3名で見直ししながら行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		見直ししながら行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・登園時の児童の様子によって対応を臨機応変に変更確認を行っている ・担当表をもらっている(担当や役割が記載されている物) ・統一した対応を行っていく児童に関してカンファレンスを行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことでの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	5			
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5			
	31	(31は、事業所のみ回答)	5			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	4	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		現在、取り組んでいない。保護者評価で交流などの必要性を感じない間いご意見もあり、慎重に対応していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		※現在てんかんや常服薬のある児童無し。過去、あった時は保護者とマニュアル作りをしている
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	2		※Drの指示書が出ている児童がない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		※現在身体拘束の必要性のある該当児童無し	

事業所における自己評価総括表

公表	2024年11月20日			
○事業所名	てらびあぼけっとさいたま浦和教室			
○保護者評価実施期間	2024年10月12日 ~ 2024年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33家庭(34名利用)	(回答者数)	32家庭
○従業者評価実施期間	2024年10月12日 ~ 2024年10月26日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月18日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご利用者ご本人と保護者との信頼関係 (保護者集計表 28.29) (自己評価表 24~44)	・ご利用者の成長につながる支援。また、保護者のご要望や困りごとに対して面談や送迎時に細かく話をお聞きしている	・支援に対するの納得感や、ご利用者の成長を感じられるよう、プログラム内容の工夫と全職員の認識や課題感の共有と支援の統一性を担保できるよう、ストラテジーシートの書き方研修などの研修やカンファレンスを行っていく
2	・ご利用者が楽しく通えている事 (保護者集計表 5.7.8) (自己評価表 11~23)	・セラピー内容もそうだが、まずはご利用者と仲良くなる事、安心して楽しく通えることを意識して関わっている	・さらに信頼関係を結べるよう、変わらず楽しく遊び、細かな変化や成長を見つけ、ご本人自信を認め尊重していく
3	・情報の伝達が出来ている (保護者集計表 20.21.24) (自己評価表 35~44)	・BLOG、HUGだけでなく、教室入り口のホワイトボードへの掲示を行っている	・今後も写真など使用しながらわかりやすく掲示していく
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会を実施している事の周知不足 (保護者集計表 18) (自己評価表 34.45.46.49)	・現状で私たちの認識と保護者の認識が大きくずれていた。 ・保護者会という名目で行う場合は、ご利用人数の関係でそのクール、もしくは対象年齢を絞っておこなっている為、「ある」と「いいえ・わからない・どちらともいえない」で割れている	・夏休みの専門職の講習会や、保護者同士のお話し会などの名目に「保護者会」という文言を入れる ・月一程度で行う ・保護者会の様子を了承を得たうえでBLOGなどに載せるなど
2	・地域との交流 (保護者評価表 11) (自己評価表 44)	・地域との交流に対して慎重、指定的な保護者が毎年一定数ご意見としてご意見をいただく事や、園に通所を隠している方もいらっしゃるので慎重に対応	・交流の仕方など、工夫できるところを見つけ、交流について検討はし続けていく
3	・ご両親に対するの療育についてのアプローチ (保護者評価表14) (自己評価表 34)	・1と重なるが、講習会を行っている事の周知不足。また、ご相談があった方にご案内して取り組んでいるので、こちらから全員にお声掛けはしていなかった(例：作業療法士のお習の使い方教室→年長児優先 幼保と療育の両立について→二歳児、三歳児優先 など)	・一回の開催時の参加人数調整のため、一度に声掛けすることの難しさがある。今後複数回開催するための職員の確保と時間の確保をしていく